

令和 7 年度  
行政視察報告

遊佐町議会  
議会広報常任委員会

1. 視察日程

8年1月19日（月）～20日（火）

2. 参加議員

議会広報常任委員会	委員長	本間	知広
	副委員長	駒井	江美子
	委員	斎藤	弥志夫
	委員	菅原	和幸
	委員	佐藤	俊太郎
	委員	今野	博義
	議会事務局（随行）		
	係長	船越	早苗

3. 遊佐町議会規則第74条よる派遣について

議長に対する派遣承認要求	7年12月	2日
議長の承認	7年12月	2日

4. 視察の目的

これまで、議会広報クリニックを受講して、広報作成についてある程度の理解をしている現状である。しかし、より良い議会だより作成のため、優れた広報誌を作成している町村の議会広報委員がどのような編集方針を持ち、実際にどのような流れで議会だよりを作成しているのかを調査した。

(1) 宮城県利府町（りふちょう）

視察日時 8年1月19日（月） 13：30～15：35

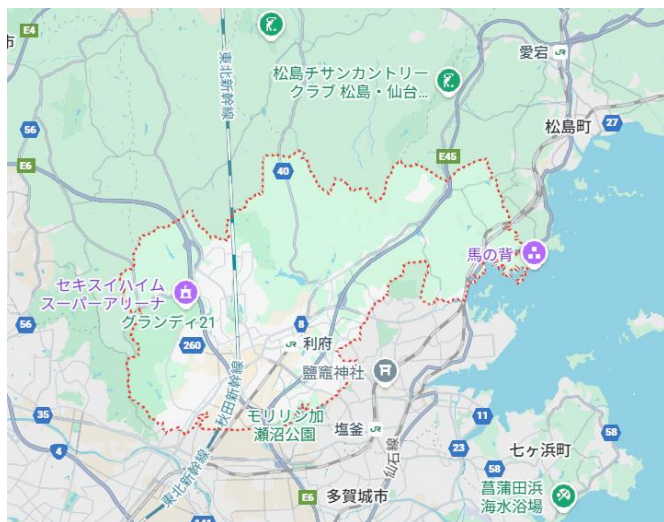
場所 利府町役場

説明者	議会広報常任委員会	委員長	鈴木	晴子氏
		副委員長	金萬	文雄氏
		委員	高久	時男氏
		委員	小淵洋一郎氏	
		委員	高木	綾子氏
		委員	郷右近雄吾氏	
		議長	永野	渉氏
	議会事務局	事務局長	太田	健二氏
		書記	斉藤	杏太氏

## □利府町の概要

・利府町は、宮城県中部に位置し、宮城郡に属する町。仙台市を含む7つの市町と隣接している。町内には宮城県総合運動公園、宮城スタジアム、新幹線総合車両センターがある。JRの駅が3つ、インターチェンジが4つあり、交通のアクセスがいい立地になっている。

・人口 約 35000 人 面積 44.86 km<sup>2</sup>



利府町の位置



利府町役場

## <視察概要>

○発行日：年4回 町の広報に合わせて、第2、または第4金曜日に配布

発行部数： 14500部

## ○発刊までの流れ

### ① 第1回委員会

・議会の会期前に委員会を開き、議会だよりの内容（ページ数、記事構成、掲載内容、記事分担等）について検討する。

### ② 第2回委員会

・議会閉会から約2週間後に開催。第1回目の委員会で決定した掲載内容、記事分担等を確認し原稿作成。一般質問の原稿も校正。

・議案等の担当者は、議事録から議案、質疑、討論等を要約する。

・一般質問の担当者は、提出された原稿内容が議事録の内容と相違ないか確認しながら、

校正を行う。一般質問は、人数が増えればその分だけページが増える。書いた本人の原稿を尊重はするが、編集権限は、委員会に委任されている。利府町議会広報発行要領があり、委員会の役割に「提供を受けた原稿、写真等については、尊重するものとするが、あくまでも利府町議会が議会広報を発行するための素材であり、その取扱いについては委員会に一任する」と記載がある。判断に迷うときは、委員で話し合う。

- ・この日で作業が終わらない場合は、翌日を予備日としているため、翌日も委員会を開く。
- ・委員会終了後、事務局は正副委員長が内容を確認したのち、委員会から原稿、レイアウト等の引き渡しを受けその内容をまとめ、業者へ発注。

### ③ 第3回委員会

- ・議会閉会から約30日後に第3回目の委員会を開き、ゲラ刷りの内容、レイアウト、写真等の校正をする。
- ・委員会終了後、事務局で構成内容をまとめ、業者へ引き渡す。

### ④ 最終校正

- ・正副委員長が原稿の確認をする。その後、議長までの決裁を得る。

### ○ 校正の回数

- ・初校・再校・最終確認で、校正は2回。初稿だけ委員会で実施。再校は、各委員が自宅で校正。

### ○ 編集方針

- ・「中学生でもわかる」を合言葉に、町民目線の視点と、出てきた原稿内容を確認しながら編集している。
- ・用語解説は、簡易な言葉に変えられないときに行っている。
- ・デザインや配置などは、前号や他町村の議会だより、一般雑誌のレイアウトや記事などを参考に各ページ担当者が行っている。

### ○ 表紙の写真

- ・年度初めに委員会で今年の構成や表紙のテーマを決める。その決まったテーマに沿い、

輪番制の二人組で表紙を撮影している。子どもの写真などが多かったが、今年度は地域おこし協力隊をテーマに表紙の写真を撮影している。

○ 追跡レポート記事

・平成18年からやっていた。施政方針など大きく変わる項目で過去にどうしていたか確認し、載せるかどうか町民目線の視点で検討している。

～視察を終えて～

他町村の広報委員会の視察を記録のある限り、広報委員会としては初めて行った。実際にどのように議会だよりを作っているのかを直接聞くことができた。とても詳しくご説明いただき、大変参考になった。町民目線とわかりやすさというポイントは、遊佐町と同じだった。取り入れられる部分は取り入れてみるのもいいのではないかと感じた。



視察説明の様子



利府町議場にて

## (2) 山形県川西町

視察日時 8年1月20日(火) 13:30~15:10

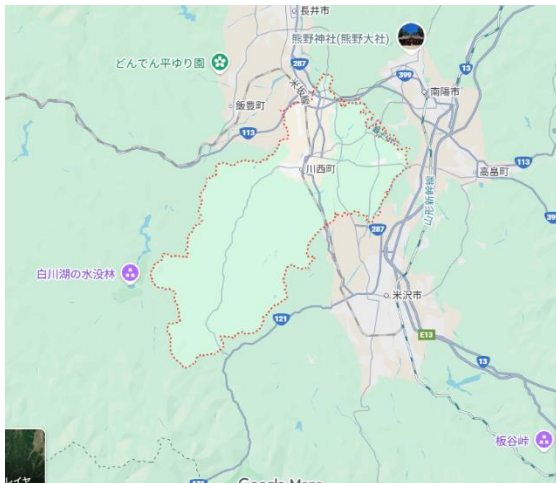
場 所 川西町役場

説明者	広聴広報常任委員会	委員長	橋本 欣一氏
		副委員長	鈴木 孝之氏
		委員	伊藤 進氏
		委員	遠藤 明子氏
		委員	寒河江寿樹氏
		委員	船山 千鶴氏
		議長	鈴木 幸廣氏
	議会事務局	事務局長	鈴木 優徳氏

### □川西町の概要

山形県置賜地方のほぼ中央に位置する。最上川の西側にあるため川西という名前になった。豊かな自然を利用した農業が盛んで、庄内に次ぐ米どころとなっている。川西ダリヤ園をはじめ、200基の国指定史跡の古墳群や東北最大級の前方後円墳である県指定史跡など歴史的遺産も数多く残されている。米沢牛の主産地でもある。

・人口 13000人面積 5.93km<sup>2</sup>。



川西町の位置



川西町役場

### <視察概要>

○発行日：年4回 町の広報に合わせて、議会終了後翌月15日に発行

発行部数： 5000部

○発刊までの流れ

① 第1回委員会

・定例会初日または、できるだけ早期に開き、編集日程の確認、委員長作成の割付表により編集担当者を決定する。各ページ・内容ごと詳細にわたり確認する。

② 第2回委員会

・定例会最終日に開催し、役割分担、原稿依頼、写真などを再確認する。この時にラフレイアウトを示し、記事の字数を確認する。

③ 第3回委員会

・定例会終了後1週間以内をめどに、原稿入稿日を決めて開催。原稿を集約して業者に入稿する。

④ 第4回委員会

・入稿日から1週間以内をめどに初稿を行う。この際、文章アドバイザーを招き助言をもらう。元教員や、元役場職員など2名に文章アドバイザーを依頼し、町民目線での文章校正を行ってもらっている。

⑤ 第5回委員会

・発行日から1週間前をめどに、構成最終日を決める。写真アドバイザーを招き助言をもらいながら、委員全員で最終確認を行う。

写真同好会などに入っている方をお願いして、表紙写真の選定を主をお願いしている。

⑥ 最終校正の原稿を正副委員長が持ち帰り、翌日の午前中に校了としている。

○編集の方針

・町民目線に立って、審査、審議の内容をわかりやすくスピーディに報告する。

・正しい用語、わかりやすい文章を書くために「記者ハンドブック」を活用する。

・町民参加の手段として「モニターからのひとこと」「町民の声」その他、町民参加の記事をできるだけ多くする。

○アドバイザー制度

・文章アドバイザー2名と、写真アドバイザー2名に編集作業のアドバイスをもらっている。文章アドバイザーは元教員や、元役場職員などをお願いし、町民目線での文章、文字校正を担当してもらっている。写真アドバイザーは、写真愛好会の方に主に表紙の写真選

定をお願いしている。

#### ○広報モニター制度

・7行政地区プラス中心部1人で8人にモニターをお願いしている。任期は2年。内容としては、期間中議会だより「モニターからひとこと」に1回投稿、発行ごとのアンケート回答など。議会傍聴の案内を出している。

#### ○町民インタビュー

・最終ページの「町民インタビュー」は、手に取ってもらうきっかけづくりの1つで7地区の輪番で担当議員が探して行っている。

#### ○街かどインタビュー

・議員で町の各地へ行き、インタビューを行っている。

#### ○表紙の写真

・遊佐町議会と同じく副委員長が担当となって、子どもをテーマに写真撮影を行っている。それぞれの地区担当の議員も写真撮影を行っていて、その中からアドバイザーの助言の元写真を選んでいる。

#### ○事務局の議会だよりへの関わり方

・広聴広報常任委員会の開催準備などだけで、編集作業には関わっていない。

#### ～視察を終えて～

前日の利府町議会広報常任委員会と同じく、とても丁寧に詳しく説明していただいた。町民目線をわかりやすさを徹底している印象だった。町民に手に取ってもらうために「議会モニター制度」や「街かどインタビュー」など町民の声をたくさん載せていた。遊佐町の議会だよりでは、町民の声を載せる部分が多くないので参考にして取り入れられる部分があれば検討していきたい。



視察説明の様子



川西町議場にて